

四季の詩

グループホーム八戸グリーンハイツ
令和7年3月25日

今年も良い年になりますように♪



1
がっ
月



やっぱりお正月は書初め

わが家では、毎月思い出の会で、子どもの頃の思い出を語り合っています。二月は建国記念の日（紀元節）、天皇誕生日（天長節）の祝日があり、このテーマで話をしてみました。「袴をはいて、学校に行ったべ」「校長先生の話を聞いて、帳面もらって帰った」「祝日は旗出してね。父親がやっていた」など、多くの発言がみられました。私たちは、その日に学校へ行くこともなく、貴重なお話から昭和の時代を知る機会になっています。過去の体験や思い出が蘇り、互いに交流を深めたり、脳の健康に役立てられるよう、今後も様々なテーマで、楽しく語り合いたいと思います。



2
がっ
月
鬼は外！福は内！

3
がっ
月



毎年、みなさんがとても楽しみにしているえんぶり。「去年も見たよね！」「今年も見れるの？」「いつ来るの？」と大久保えんぶり組の来訪を待ちわびました。そして当日。太夫のすり、子どもたちの舞に感動し涙ぐんだり、おはやしに手拍子をしたり、舞に合わせて体を動かしたり・・・一足早い春の訪れを感じながら、楽しんでおられました。



ひなまつりはちらし寿司でお祝い♡

3.11 防災を考える

東日本大震災から14年になりました。近年、地震・津波だけでなく様々な災害が各地で起こっており、決して他人ごとではありません。わが家でも改めて環境の見直しや避難経路の確認、持ち出用品のチェックなどを行いました。また、避難した後のことも想定し、備えておけることはないかさらに検討を重ねていきたいと思ひます。

人生の木

“最期まで自分らしく生きる”ことは誰もが願うことです。それは認知症高齢者にとっても同じこと。わが家では、一人ひとりがどのような価値観を持って過ごしてきたか、これまでの人生を振り返り、将来受ける医療やケアについて一緒に考える場を大切にしています。聴くことをあきらめたり、決めつけたりせず、「タイミングよく」「丁寧に」「コツコツと」語り合い、その人の願いや思いを表した言葉を紡いでいます。『人生の木』を描きながら、あらためて一人一人の人生の重みを感じています。その方の『大切にしたいこと』を理解し、願いや希望を暮らしに生かしていきたいと思ひます。



編集後記

春彼岸が過ぎ、桜の開花が待ち遠しい季節となりました。「暖かくなったら、散歩やドライブに出掛けよう！」と、毎日ラジオ体操や転倒予防体操を続けています。1日1日を大切に過ごし、たくさんの笑顔の花を咲かせていきたいと思ひます。